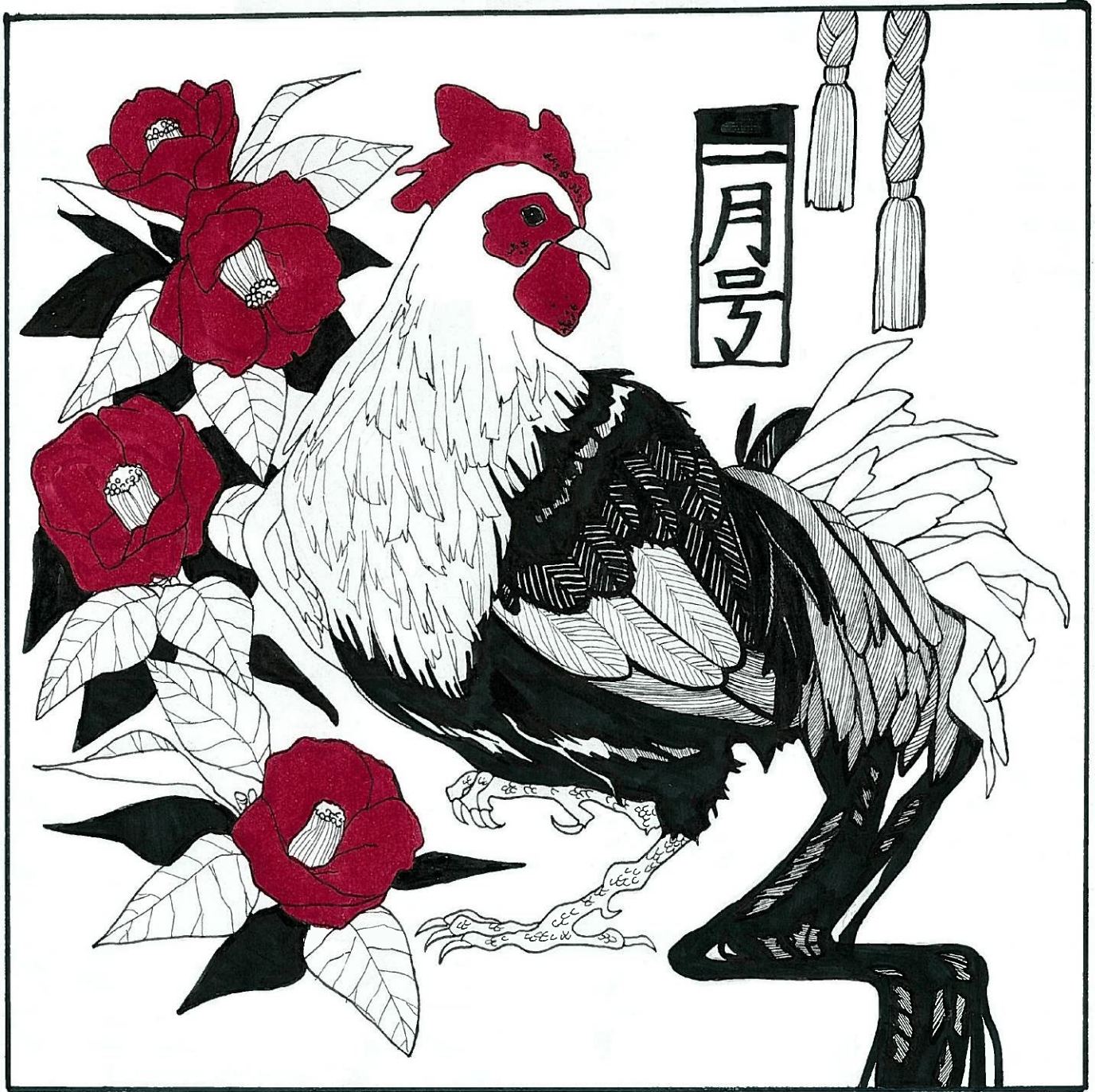


こくさいこうりゅうせんたー

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.93 とよなか国際交流センター広報誌 2017年1月



「新年なので冬の椿と酉を描きました！」

水野舞花（大阪府立池田高校2年生）

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会（指定管理者） ☎06-6843-4343（水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00）

1/29(日) 14:00~16:00

平和と共存のためのおまつり地球一周クラブ
～韓国・朝鮮の楽器と踊り編

内容:

韓国出身の講師と一緒に楽器や踊りを体験。

対象:小・中学生、20人(保護者同伴可)

要申込、先着順



1/28(土) 10:30~12:30

哲学カフェ in とよなか国際交流センター

「さぼりたい。」をテーマに、カフェフィロ・鈴木径一郎さんの進行で対話を
楽しむ。

定員:20人

要申込、先着順

(※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです)

新しい年のスタート! 2017年もよろしくお祈りします。

2016年はとよなか国際交流センターの指定管理(第3期)のスタートの年でした。新たに学楽多(こども学習サポート)や国流シネマカフェなどの取組をスタートしました。また、今年は新しい職員が加わり、事務局の体制も変わりました。ばたばたと、でも和気あいあいとここまでできました。

年明けの1月21日には、初めて関係者の方々をお招きして「新春のつどい」を開催します。また、防災についても新たな取組を進めていく予定です。2017年もどうぞよろしくお祈りします。



職員一同です。本年もよろしくお祈り致します。

CSOアワード2016で協会が「CSO賞」をいただきました

CSOアワードとは、認定NPO法人大阪NPOセンターが1997年から行っている表彰事業です。市民活動、社会活動の促進及び発信のために始められたもので、社会的課題の解決に取り組んでいる先進的かつ継続的な事業を対象としています。

今回、当協会では「多様な人々が尊重される地域づくり～日本語交流活動事業～」と題して、日本語交流活動(とよなかにほんご[木ひる・金あさ]、にちようがちゃがちゃだん、もっともつつかえるにほんご、おやこでにほんご[しょうない・おかまち・せんり]、千里地域での日本語交流活動の開設準備)を中心とした取組について、応募しました。

書類選考、一次プレゼンを通過し、11月に最終プレゼンに挑みました。残念ながら大賞は逃したものの、その次のCSO賞をいただきました!

外国人が地域社会に参加する準備とし

て、専門家が効率的に「日本語の授業」を行うのではなく、多くの市民がボランティアとして参加する「日本語交流活動」はまさに一つの地域社会・コミュニティであり、学び合いやつながり作り(知り合いや友達を増やし、孤立を防ぐ)の場になっていることは高く評価されました。また、運営面についても、外国人の声を大事に、ミーティングを通してボトムアップ的に活動していること、外国人の状況などに合わせて参加形態(親子など)、日時、地域などの面で幅広く展開していることも高く評価されました。

今回、このように日本語交流活動でCSO賞をいただいたのは、100人以上の日本語ボランティアの皆さんのご尽力に他なりません。今回の受賞をご報告すると同時に、ともに喜びたいと思います。

(事務局長 山野上隆史)



前列右から2番目が筆者



海外より

日本人、聞こえますか～?

(第5回)

中原田ブルーナ

外国人のための多言語相談サービス(ポルトガル語)多言語スタッフと、子ども事業コーディネーターをしていた中原田ブルーナさんが、2015年4月より故郷、ブラジルに滞在しています。ブルーナさんからのブラジル生活便りをどうぞ。

FELIZ ANO NOVO! (新年おめでとうございます!)

1年間ブラジルに帰る予定でしたが、もうすぐ2年になります。滞在期間がさらに伸びる予定ですが、ブラジル生活にすっかり慣れました。実は今このコラムを日本で書いています。家族が日本にいますのでお正月帰ることにしました。「ブラジルに帰る」「日本に帰る」と書いていますが、前から私はどこに「帰る」のかいつも疑問に思っていました。

私はサンパウロ州のサンベルナルドドカンポ市で生まれ、小学校2年生のときにブラジル南部のクリチバ市へ引っ越し、中学校を卒業してから日本へ渡り、高校生活は静岡、大学は大阪でした。ブラジルへ帰ってきて、一回出身地のサンベルナルドドカンポへ行きましたが、仕事の関係でブラジリアへ引っ越しことになりました。今はお父さんお母さんが住んでいる愛知県へきています。

ブラジルでも、「出身はどこ?」と聞かれますが、すぐには答えられません。「生まれはサンパウロ州サンベルナルドドカンポ市」と答えるしかありません。実際に小学校2年生までしか住んでいなかったのでもっとも知りませんでした。ブラジル(特に大きな都市)では子どもは1人で出かけた場所は市内を車でしか移動したことがありませんでした。

どこかに長く住むことはないのでもその場所について詳しくありませんが、いろいろなところに住めて幸せです。「将来ここに住みたい!」という場所はまだないのでこれからも引っ越しを繰り返しながら「落ち着く」場所を探すつもりです。ブラジルに帰ってから何回も「なんでブラジルに帰ってきたの?日本は先進国だしすごくいいところなのに!」と言われます。ブラジル人はみんな明るくて幸せそうなイメージが

ありますが、ブラジルに関してはすごくネガティブな人が多いと思います。日本、アメリカ、ヨーロッパはすごくいい!というイメージがあり、ブラジルはみっともない国だと思う人が多い気がします。今は経済や政治問題など大変な時期ではありますが、ブラジルもいいところが多いです。いつも「ブラジルも日本も、どこもいいところもある」という風に答えるようにしています。(本当にそう思います。)

今回は家族に会うことが目的で、日本での滞在期間も短いので会いたい人みんなに会えないと思いますがまた帰ってきます!これからもよろしくお祈りします! みなさん、FELIZ 2017!



祖母の家に(後列右から3人目が筆者)

ご報告

思春期の子どもを持つ外国人向けセミナーを実施しました

外国人のための相談サービス事業では、センターを利用する外国人のニーズに基づいて、公開セミナーを年に数回開催しています。12月9日（金）12時半～14時には北野真由美さん（エンパワメント塚/ES）をお迎えして、当センターにて「思春期の子どもとケンカにならない関係づくり～お互いを尊重しよう」を開催し、外国人女性27人が参加しました。子どもの発達段階に応じた対応の仕方、力関係を意識すること、怒りのコントロールの方法や、「境界線」を親も子ども意識することなど、子育てにとどまらない、人とのコミュニケーションについての学びが満載の1時間半で、質疑応答も活発に行われました。これからの、日本での子育てに役立つ勉強会を企画していきたいと思えます！



会場の様子

ご報告

子ども母語と学習支援・サンプレイスで合同クリスマス会をしました！

通常、「子ども母語」は第2第4日曜日の10時から12時まで、「学習支援・サンプレイス」は第1日曜以外の日曜日13時から15時まででそれぞれ活動をしています。12月25日、子ども母語とサンプレイスの子どもたちが一堂に会し、クリスマス会をしました！

当日、子どもたちはレクリエーション班とお料理班に分かれ、それぞれ準備もしながら楽しみました。レクリエーション班はくじ引きで遊びを決め、めいっぱい遊びました。お料理班は買い出しからはじめて、保護者にも手伝ってもらいながらお好み焼き、から揚げ、クリスマスケーキを作りました。調理が進むにつれいい匂いが漂ってくると、遊びで盛り上がっていた子どもたちも調理室をのぞきこみ興味津々。おなかの虫が大合唱しだした昼過ぎにようやく料理ができて、みんな「いただきます！」。そのあと子どもたちは思い思いのことで楽しみながら夕方まで遊んでいました。



クリスマス会の様子



なんじゃ・カンチャ・言わせてもらえば（第93回）

「多言語による進路相談会への熱い思い」

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢゃ）

外国籍、外国にルーツのある子どもにとって、日本で将来を考えたとき、国籍で排除されたり、日本語理解が不十分だったり不安にならざるを得ない厳しい現実があります。せめて、学力、学歴があれば何とか生きていけるのではと考えるのは当然のことですが、なかなか思い通りには行きません。義務教育だけでカバーできない学力を高校などでもう少し身につけてほしい、社会に出る前に友だちを増やして欲しい、日本の生活習慣に慣れてほしいなど、いろいろな人たちの思いで、2016年度も11月5日（土）、とよなか国際交流センターで「多言語による進路相談会」が開催されました。

初めに受験校を選ぶとき①「やりたいこと」を考えてみよう②オープンキャンパスや入試説明会のときに、実際に高校に行ってみよう③授業内容やクラブについて知ろう、という説明を受けました。入試の予定や昨年度と違う点、合格者の決定方法や奨学金についての話もありました。帰国、渡日の生徒で条件が合えば時間延長や試験問題のルビ打ち、辞書の持ち込みなどの対応してもらえらるという説明もありましたが、通訳を介してどこまで、理解できるのか大変だなと思いました。

次に、東淀川・福井・箕面東・桜塚定時制・千里の5つの府立高校の特徴について説明がありました。日本語指導や学習支

援について、課外の外国人生徒たちの活動など、魅力ある高校生活が送れそうな学校ばかりでした。先輩からも、中国から来てまったく日本語が分からなかったのに、通学しやすい近隣の高校を選び、努力して入学できたという話や、ブラジル・ペルーの日系人だが、日本語ができず、小中学校ではじめられていたが、高校では、友だちができたし、昨年からは中学校の学習の学びなおしができるようになり、本当にうれしいと嫌な思いを乗り越えて、高校での楽しい生活を語っていました。

個別相談では、受験科目や進級の条件、通学の方法など、くわしく相談することができました。高校の先生からは、「休みませんか」「まじめに学習できますか」という質問がありました。授業が分からなくても学習支援があるので、心配することはないが、欠席が多かったり、授業態度が悪かったりすると進級できないといわれ、本人も家族も納得していました。

相談会当日を迎えるまで、たくさんの人たちが多文化な子どもたちの将来を広げるためにどんな支援ができるのか、しなければいけないのか、悩み、知恵を出し合う話し合いが何度もされました。当日の反省会も含め、こんな熱い会議に参加すると、また来年も頑張ろうと力がわきます。そもそも、多言語による進路相談会は小学校や中学校の先生たちが一生懸命勉強してもな

かなか日本語理解が進まない外国人や外国にルーツを持つ児童、生徒たちの将来を案じて要望し、設置されたそうです。この熱を現場の先生たちにも伝えられるよう、多言語による進路相談会設立の経緯や意義をしっかりと確認していきたいと思えます。

8月にベトナム人の子どもたちを対象にした、姫路の学習支援活動を見学しました。ボランティアによる長年の活動ですが、学力のある女の子に、看護学校に行つて看護師免許を取得するよう指導されていました。生きていくためには当然だと思いますが、昔の「在日」と同じじゃないかと複雑な気持ちになりました。金という名札をつけていると、高齢の日本人の患者に脈を取らせてもらえなかったと、嘆く知人の姿を思い出します。どのような将来の選択をしても、困難はつきまといますが、相談できる場所があれば安心です。

2016年は「相模原障害者施設殺傷事件」や、あり得ないリーダーが選ばれるという厳しい現実を突きつけられました。共通するのは弱者を切り捨てるという考え方で、反対に言論弾圧をし、「セウォル号事件」の遺族に寄り添わなかった、韓国の朴槿恵大統領は国民の声で弾劾されました。身近な弱者を痛めつけるのではなく、根本的な解決を求める声が必要です。2017年も、なんじゃカンチャ言わせてもらいます。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(小)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室2A	34	21	480	600	520	1,600	
			2,400	3,000	2,600	8,000	
会議室2B	65	48	840	1,120	1,000	2,960	
			4,200	5,600	5,000	14,800	
会議室2C	33	21	440	560	520	1,520	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
			2,200	2,800	2,600	7,600	
会議室3	55	18	520	720	640	1,880	ホワイトボード(大)
			2,600	3,600	3,200	9,400	
会議室4	63	30	840	1,080	960	2,880	ホワイトボード(小)、流し台
			4,200	5,400	4,800	14,400	
会議室5	27	12	360	480	400	1,240	ホワイトボード(大)
			1,800	2,400	2,000	6,200	
和室	38	18	480	680	560	1,720	10畳
			2,400	3,400	2,800	8,600	
ギャラリー	18	-	240	320	280	840	壁画ガラスケース、ピクチャーレール
			1,200	1,600	1,400	4,200	
プレイルーム1	57	20	880	1,160	1,040	3,080	子ども用トイレ
			4,400	5,800	5,200	15,400	
プレイルーム2A	43	15	680	880	760	2,320	子ども用トイレ、畳(一部)
			3,400	4,400	3,800	11,600	
プレイルーム2B	52	18	800	1,040	920	2,760	子ども用トイレ
			4,000	5,200	4,600	13,800	
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480	2,000	1,760	5,240	アンプ/マイク/必要な機材の費用は各使用者負担、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
			7,400	10,000	8,800	26,200	
料理室	90	30	9:00~13:00	13:30~17:30	18:00~21:30	9:00~21:30	調理台6台のうち昇降式調理台2台、準備室(ロッカー)、洗面台、ホワイトボード)
			1,720	1,720	1,560	5,000	
			8,600	8,600	7,800	25,000	

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

国際交流の活動を応援します!

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)

- ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
- ・センター内の掲示板で情報提供できます
- ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など

その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html

もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です!



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook! ほぼ毎日更新中! 「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間: 午前9時~午後9時30分 / 業務受付時間: 午前9時~午後8時 休館日: 毎週水曜日、年末年始

アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)

地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター

E-mail: atoms@a.zaq.jp http://www.a-atoms.info



●アクセス: 阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分